

なんば駅前広場の整備経緯と 通過実態に関する研究



緑地計画学 和田 威

第1章 研究の背景および目的

研究の背景

- ・ なんば駅前広場は従来の交通機能に加えて、憩いや集い、語りといった交流機能を持つ広場として2023年11月23日に再整備されオープンした

研究の目的

- ・ 整備経緯を把握するとともに、広場での利用実態のうち通過に着目し、その特性を明らかにすることで、なんば駅前広場の持つ交通・交流機能の可能性を探る

研究の構成

- 第1章 研究の背景および目的
- 第2章 なんば駅前広場の整備経緯、運営体制
- 第3章 なんば駅前広場の通過実態
- 第4章 なんば駅前広場の通過実態に関する考察

第2章 整備経緯 調査方法

調査方法

- ・なんば駅前広場に関する調査書等を用いた文献調査

文献名称

- ・大阪市 世界ストリート会議資料
- ・なんばひろば改造計画
- ・なんば駅周辺道路の再編に係る基本計画 等



社会実験などを経た経緯及び運営体制等を把握

第2章 整備経緯 結果

整備経緯

- 2008年 民意発意で構想開始
- 2015年 行政計画に位置付けられ、官民連携事業に
- 2016年 社会実験①→広場でゆったり過ごすことが求められている
- 2019年 一方通行案から現在のような完全歩行者空間化案へ
- 2021年 社会実験②→交通規制と休憩スペースの設置が行われ、完全歩行者空間化が支持されているとともに利用者数が増加することが確認
- 2023年 11月23日にオープン

第2章 整備経緯 結果

整備経緯



(通常時)



(社会実験時)

2023年 11月23日にオープン

第2章 整備経緯 結果

整備経緯



(通常時)



(社会実験時)

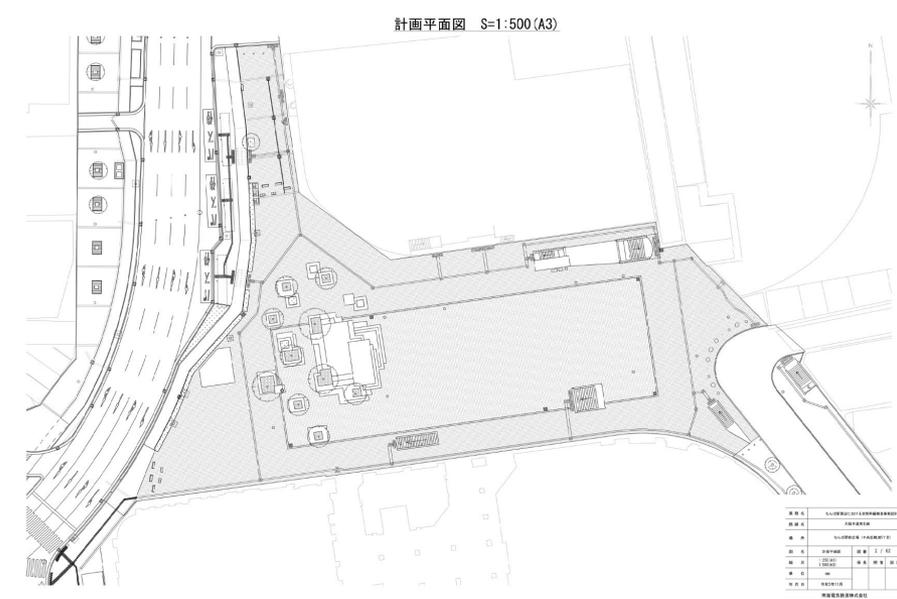
2023年 11月23日にオープン

第2章 結果

整備前



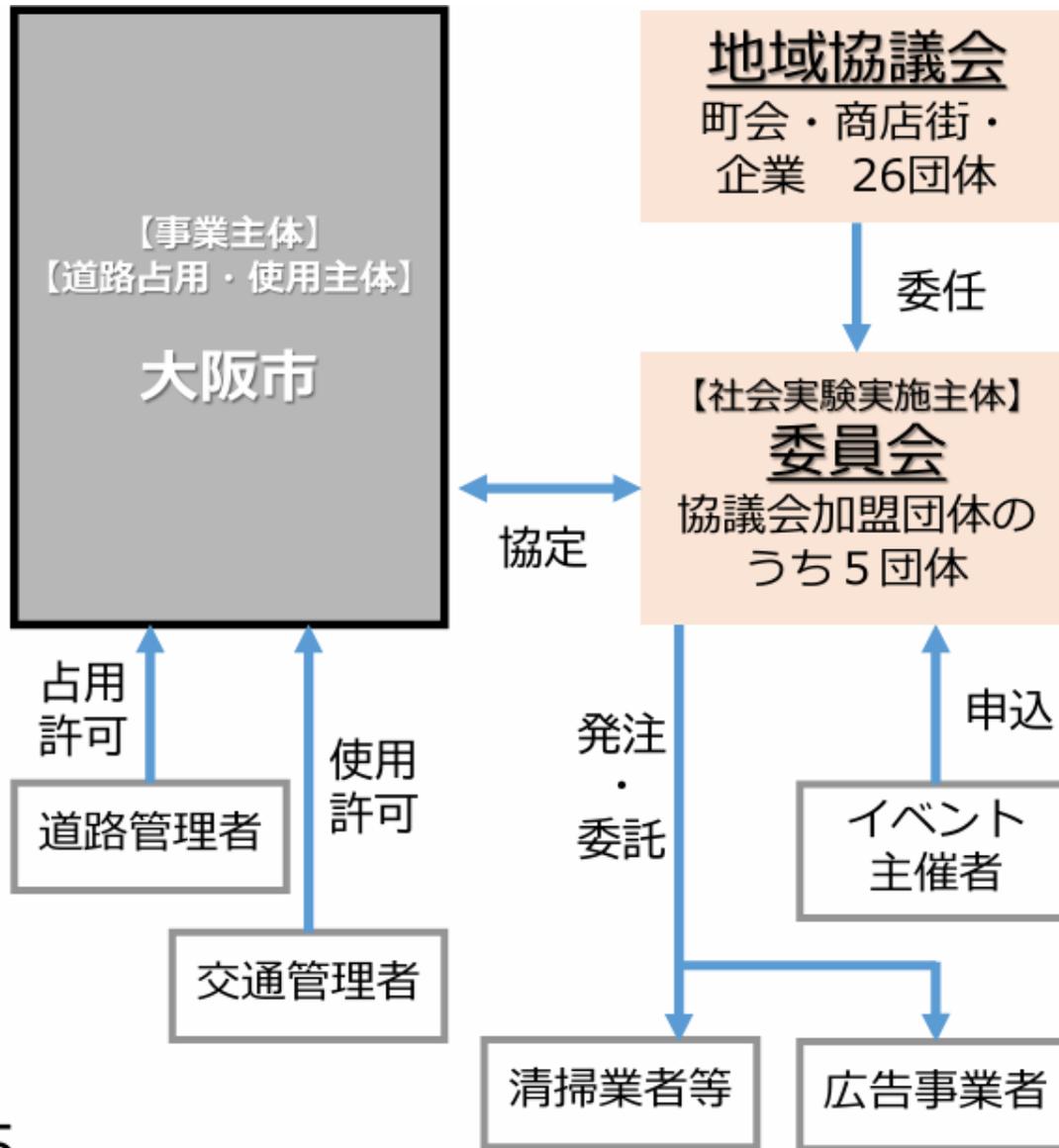
整備後



0 25 50 m

第2章 結果

運営体制



第3章 通過実態 調査方法<予備調査>

調査方法：広場の出入口20箇所すべてにおいて、10分間に広場に侵入するグループ数を調査

調査日時：2024年11月18日（月） 12:00～13:30

調査項目：侵入グループ数

凡例

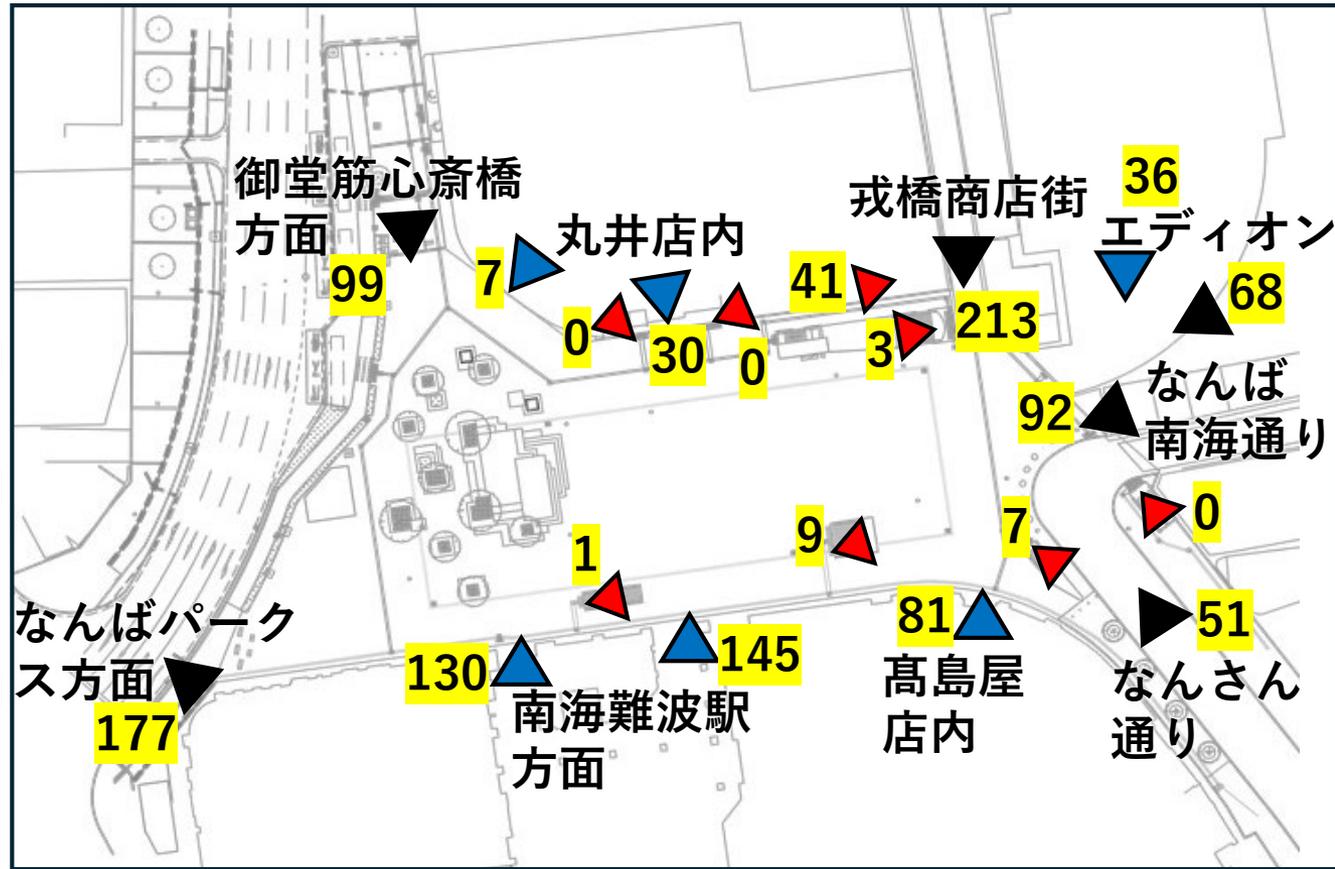
▲：通りからの出入口

▲：建物からの出入口

▲：地下からの出入口

数字：侵入グループ数

○：調査対象の出入口



第3章 通過実態 調査方法<予備調査>

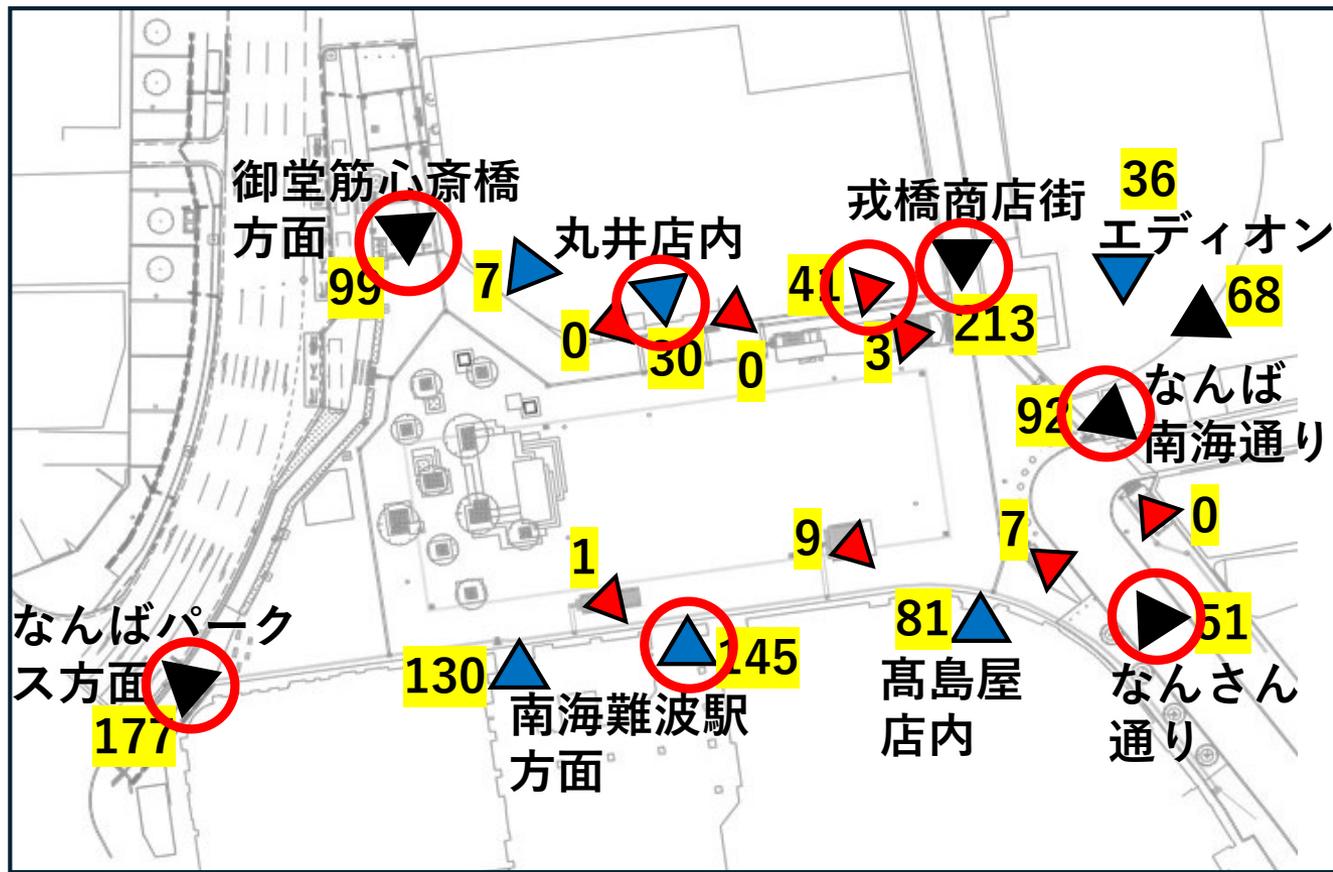
調査方法：広場の出入口20箇所すべてにおいて、10分間に広場に侵入するグループ数を調査

調査日時：2024年11月18日（月） 12:00～13:30

調査項目：侵入グループ数

凡例

- ▲：通りからの出入口
- ▲：建物からの出入口
- ▲：地下からの出入口
- 数字：侵入グループ数
- ：調査対象の出入口



第3章 通過実態 調査方法<追跡調査>

調査方法: 対象とした出入口8箇所から広場に侵入するグループを無作為に選び、属性、通過もしくは滞留するかを把握するとともに行動を追い、その作業を20分間繰り返し行った

調査日時: 2024年11月29日(金)、30日(土)
9時台、11時台、13時台、15時台、17時台、19時台

調査項目: <行動形態>・行動形態

<属性>・人数
・性別
・年代
・同伴者
・通過時間

<行動軌跡>・行動軌跡

解析方法: <行動形態><属性結果>

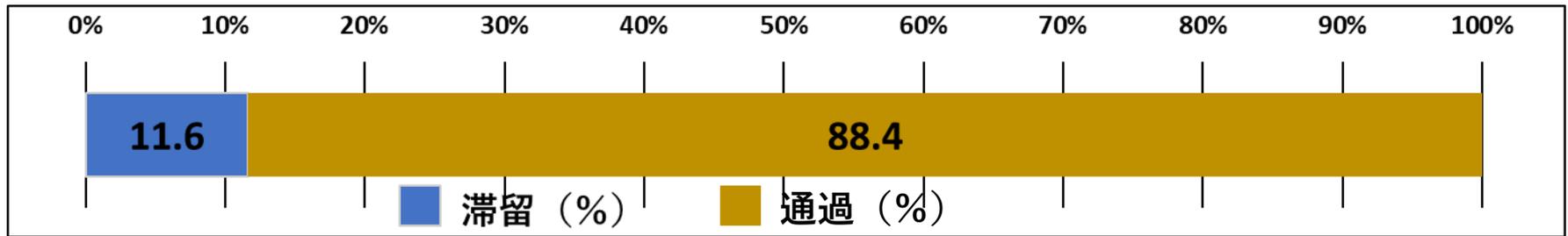
単純集計→平日・休日別、時間帯別

<行動軌跡結果>

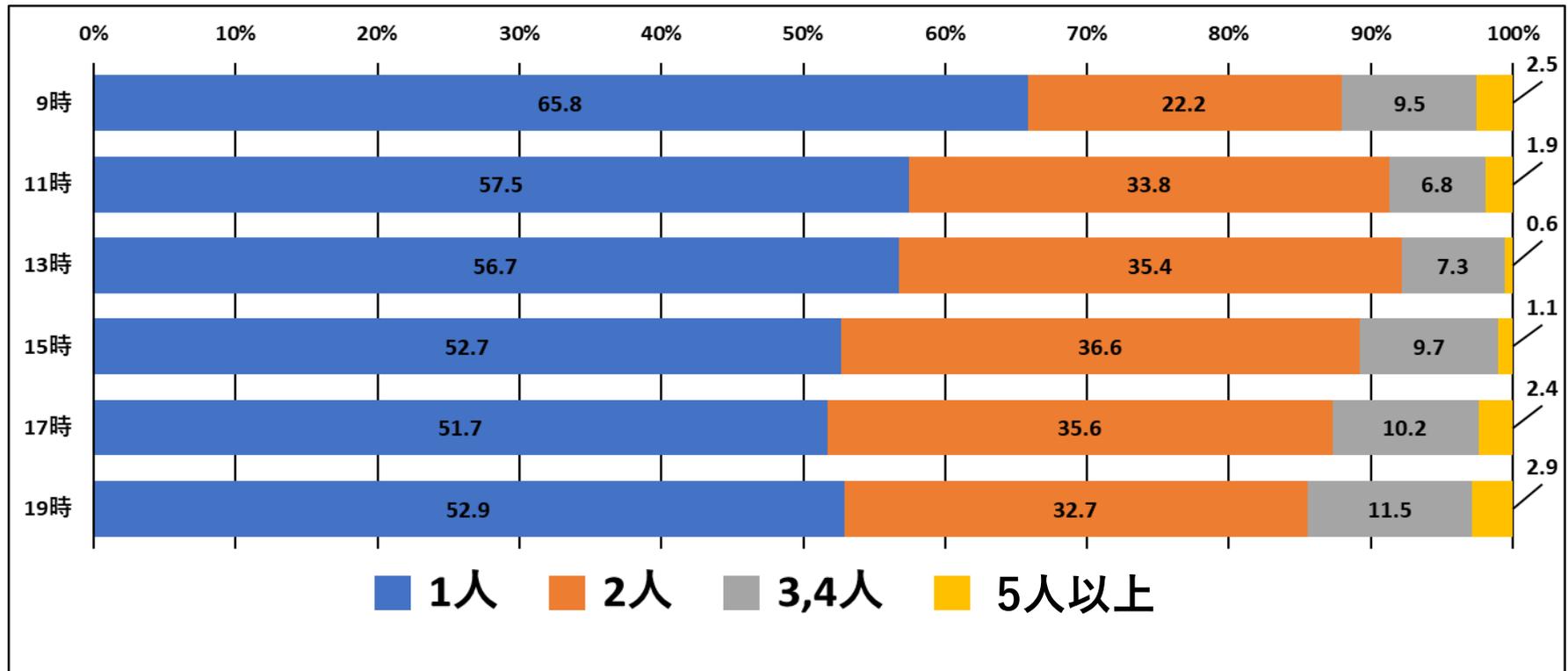
ArcGIS Proにて行動軌跡の線形フィーチャを作成し、同ルートは重ねて表現

第3章 通過実態 結果<属性>

滞留通過割合<平日・休日>

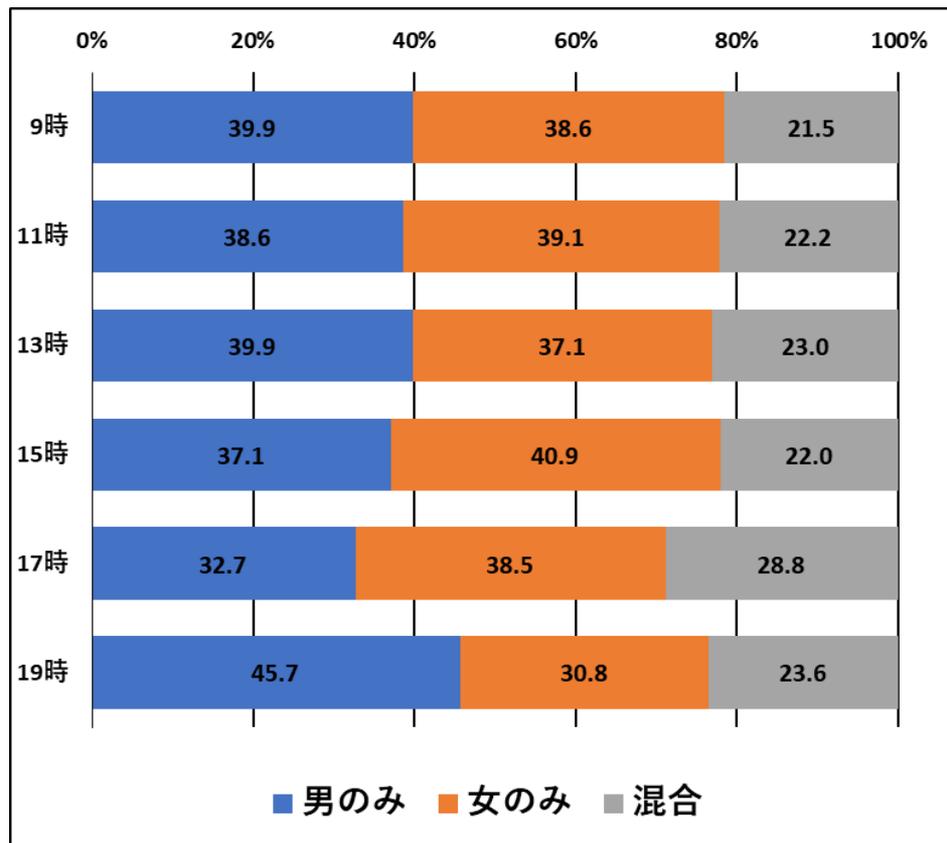


人数<平日・休日>

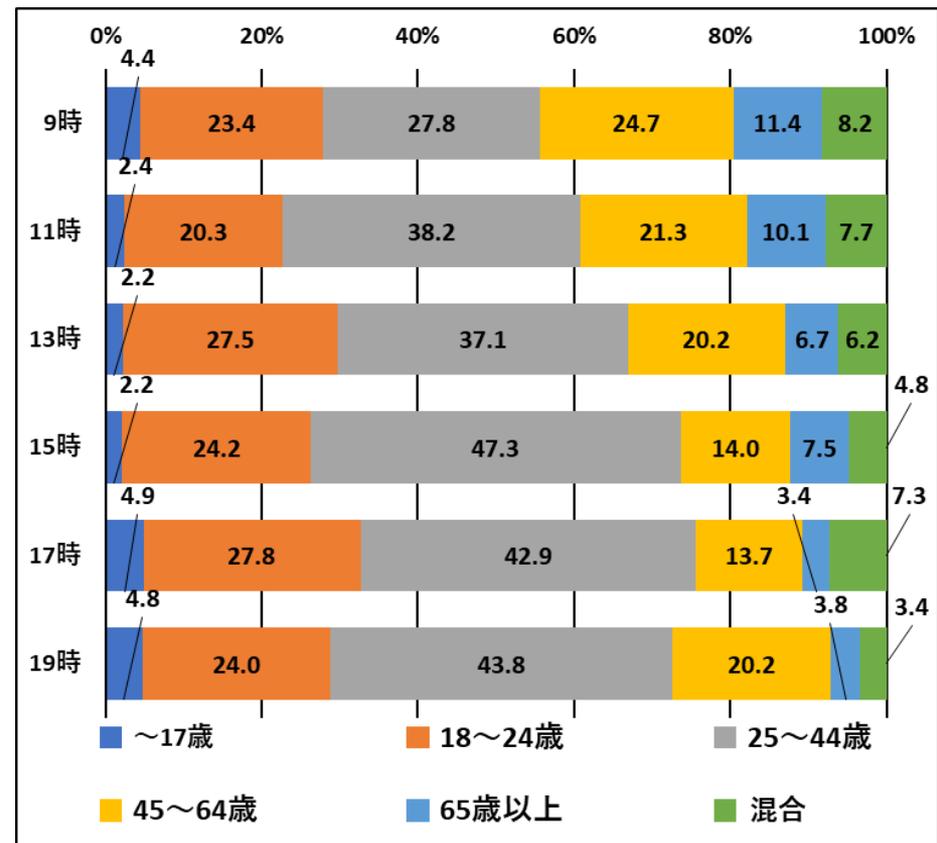


第3章 通過実態 結果<属性>

性別<平日・休日>

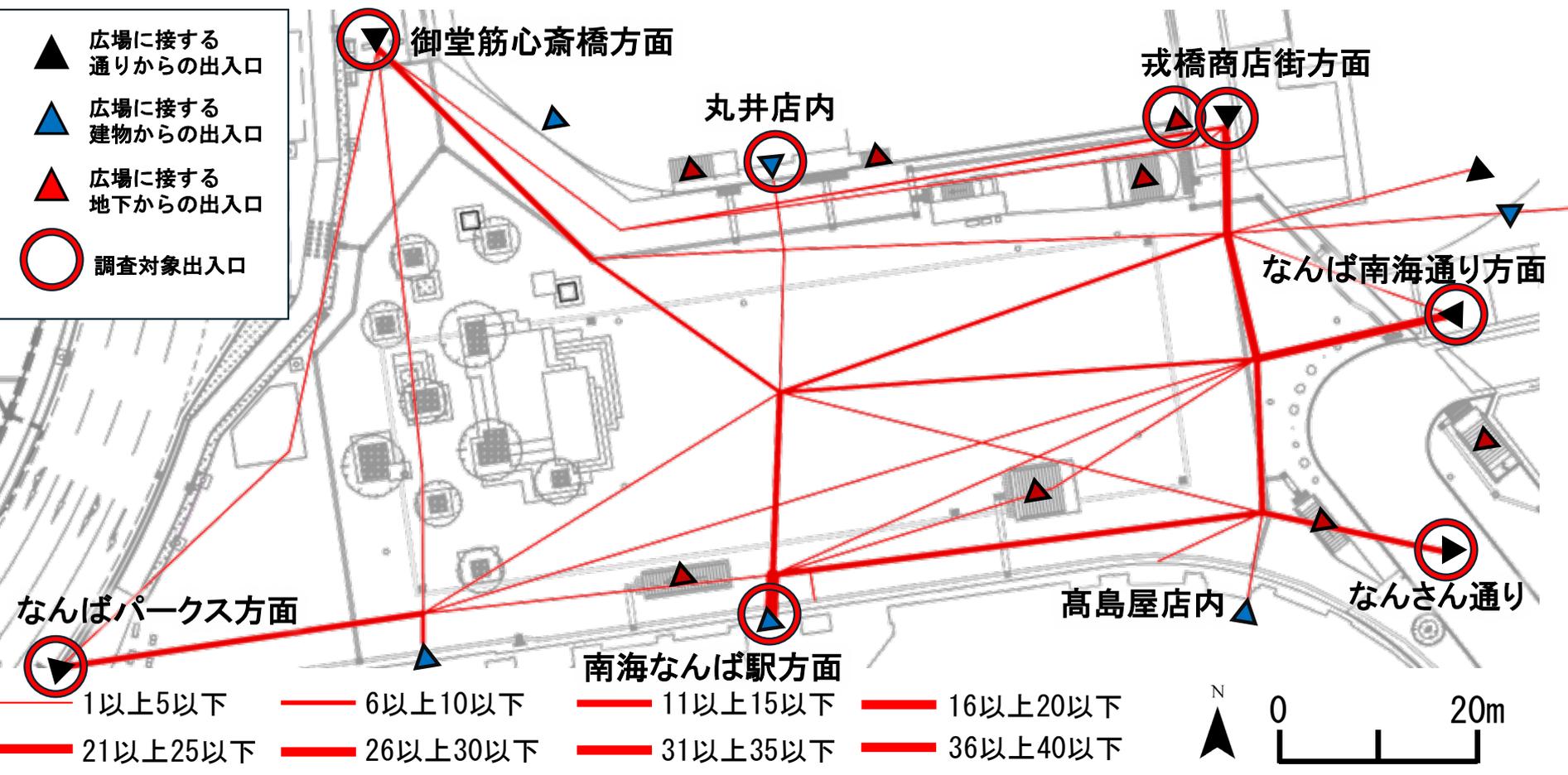


年代<平日・休日>



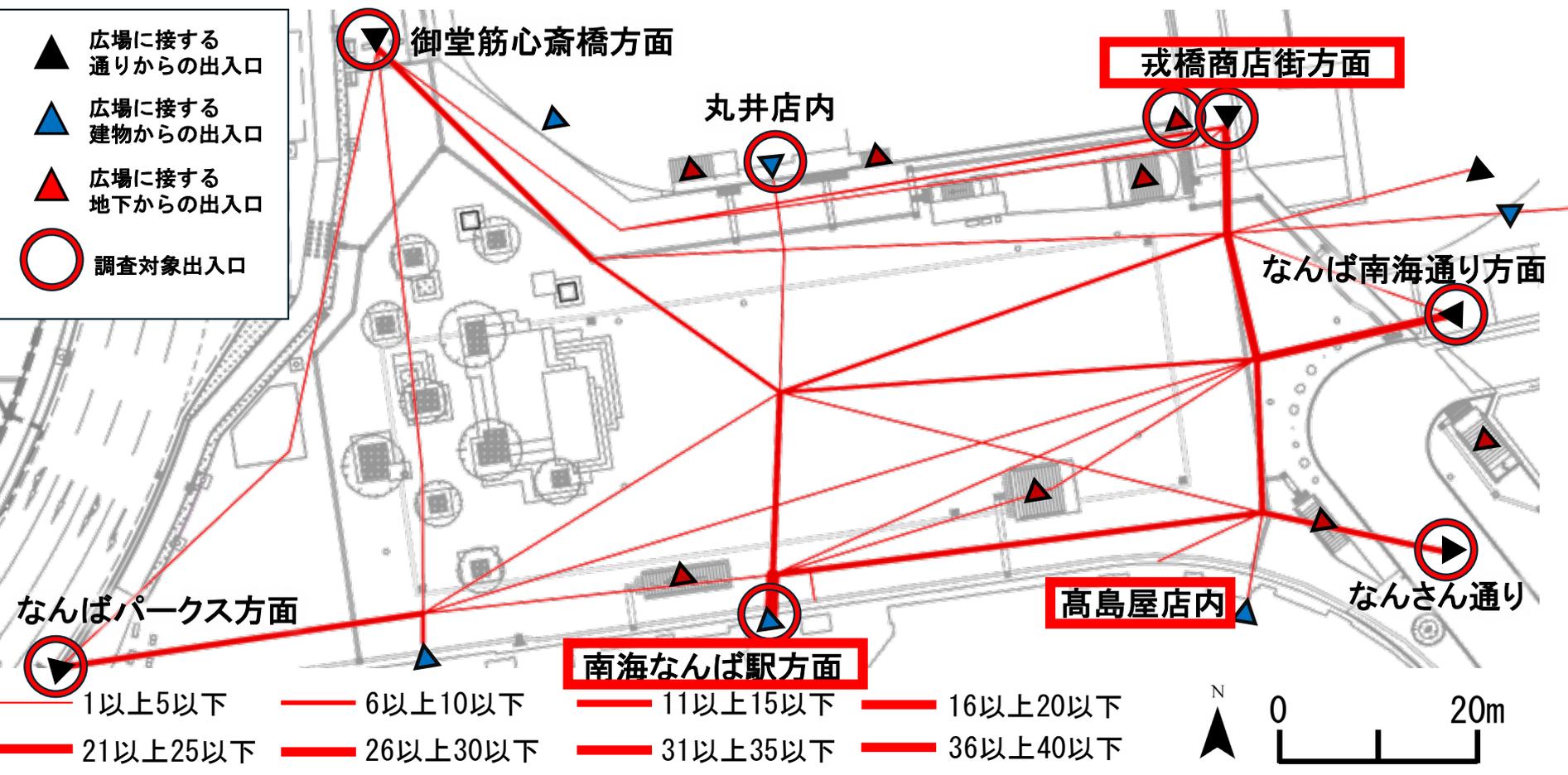
第3章 通過実態結果<行動軌跡>

平日9時



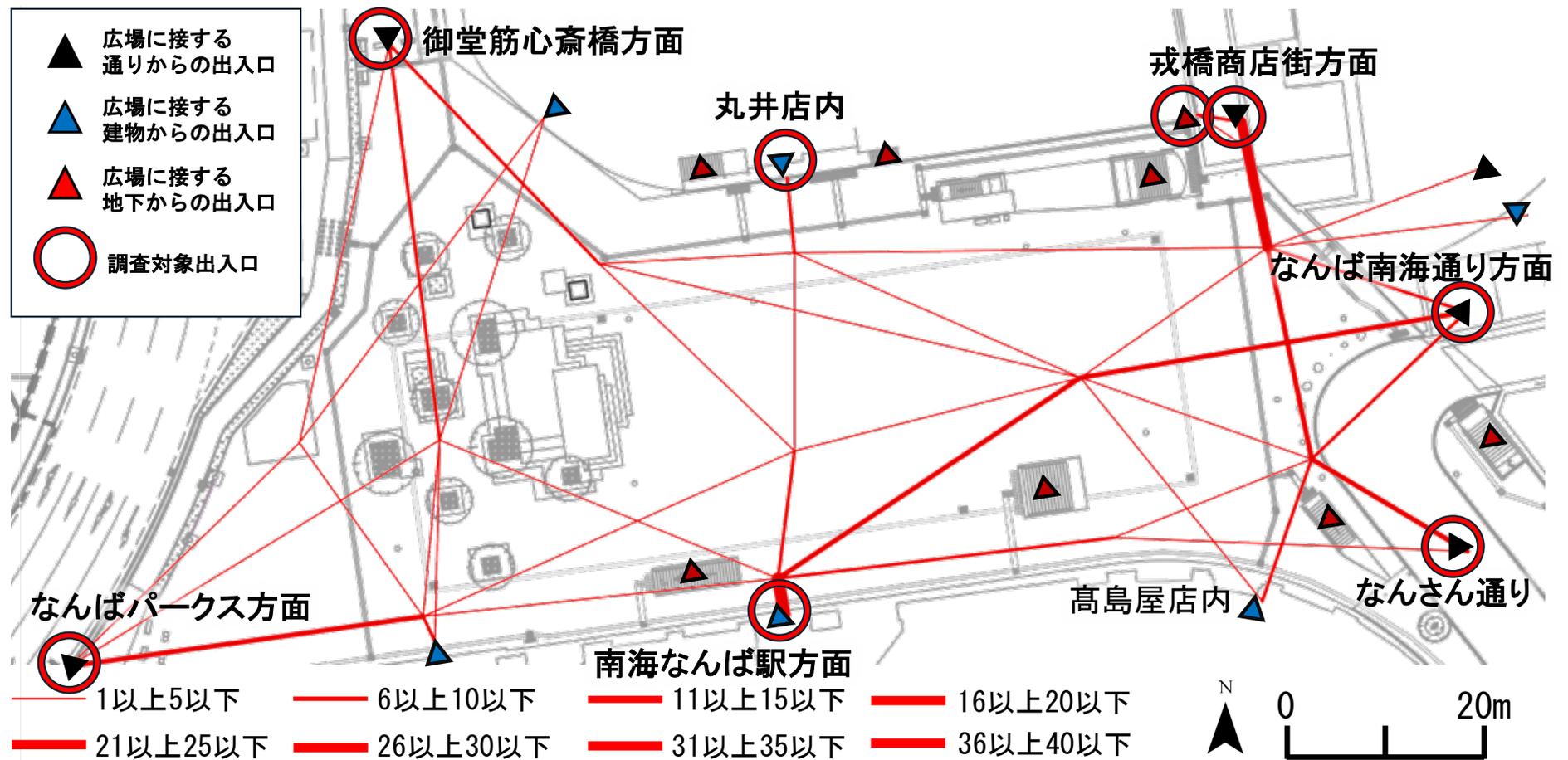
第3章 通過実態結果<行動軌跡>

平日9時



第3章 通過実態結果<行動軌跡>

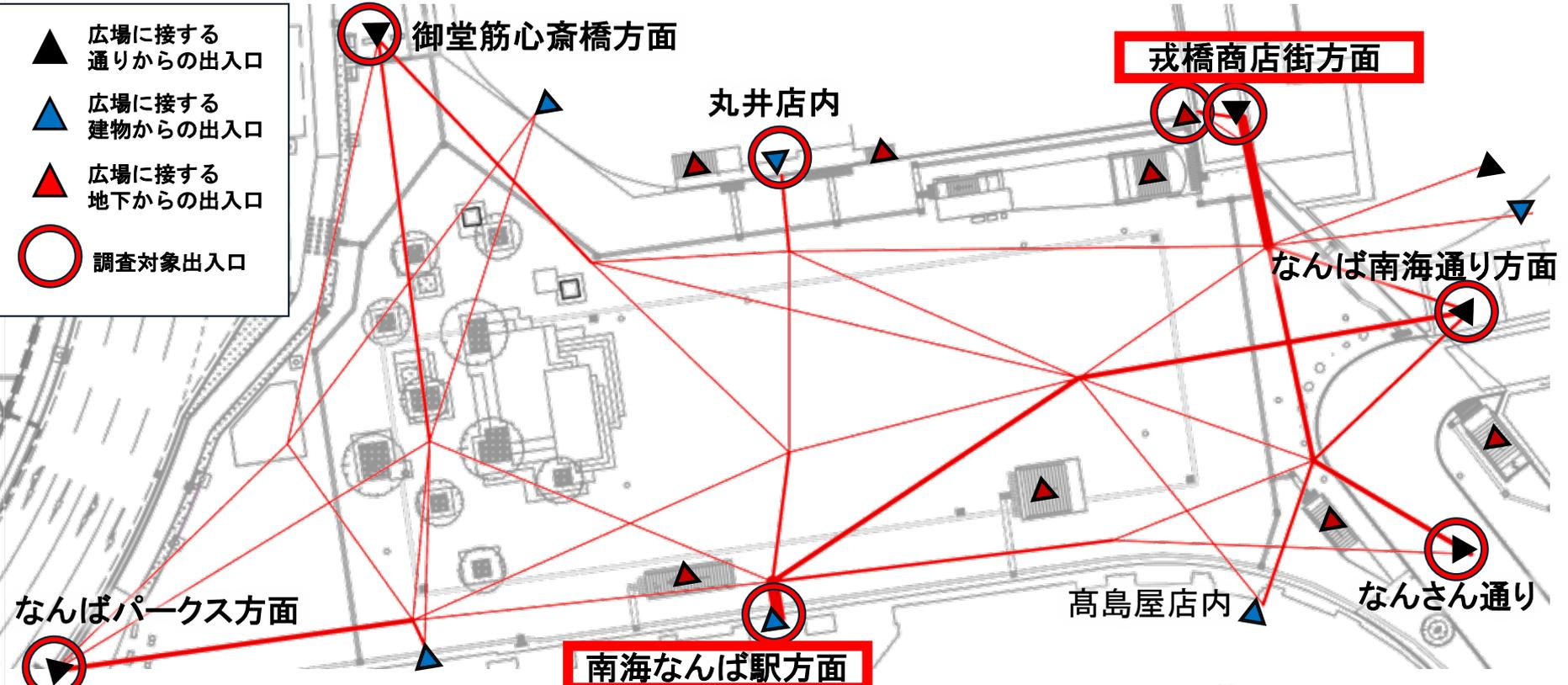
平日19時



第3章 通過実態結果<行動軌跡>

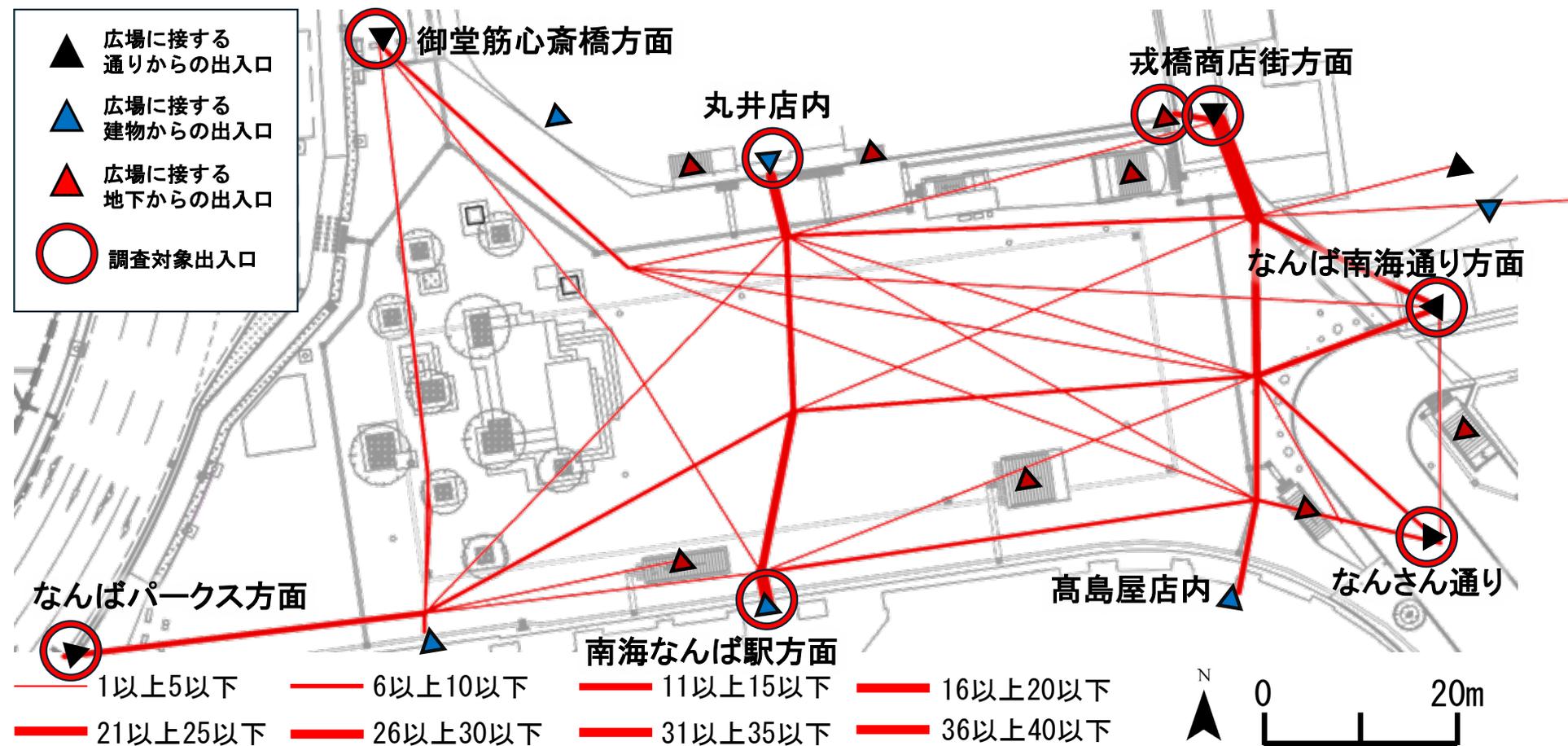
平日19時

- ▲ 広場に接する
通りからの出入口
- ▲ 広場に接する
建物からの出入口
- ▲ 広場に接する
地下からの出入口
- 調査対象出入口



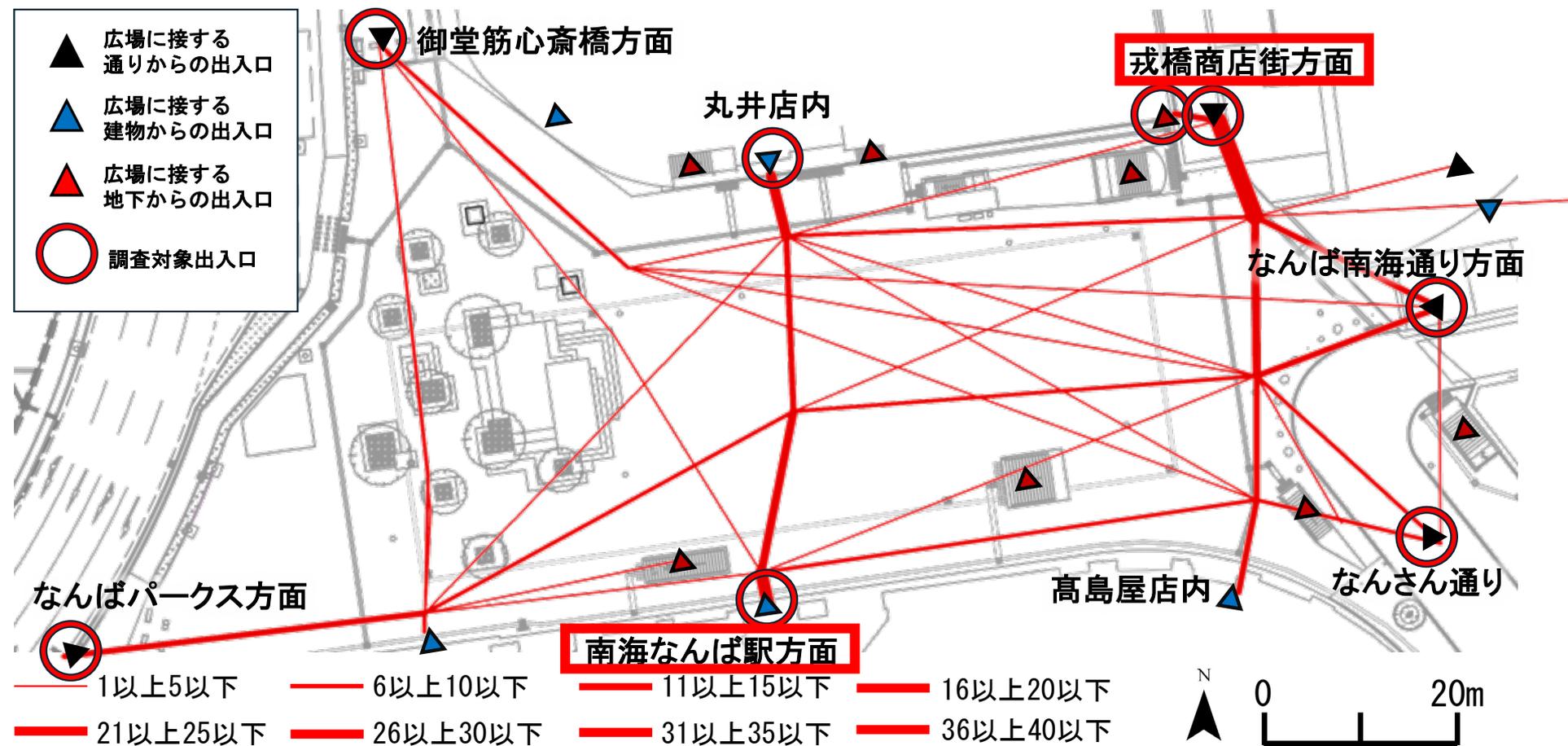
第3章 通過実態結果<行動軌跡>

休日17時



第3章 通過実態結果<行動軌跡>

休日17時



第4章 通過実態 考察・まとめ

- ・ なんば駅前広場は訪れるグループの9割が滞留せずに通過し、平日・休日ともに「単独」での通過が過半数を占めている
- ・ 特に休日では17時台以降に「友人・同僚」、「カップル・夫婦」、「家族・親子」などの複数人での利用が増え、また、広場中心を通過するグループが平日に比べて多くなる
- ・ なんば駅前広場は移動のための交通空間として機能している一方、特に休日の夕刻といった余暇行動が増える時間帯では、複数人のグループで広場内を横切るルートでの通過が多くなる



このような通過行動は、広場の単純な交通機能だけではなく、交流機能につながるポテンシャルを持つものと考えられる